

# ●口腔リハビリテーション多摩クリニック Tama Oral Rehabilitation Clinic

## 1. 所属構成員等

- 教授 菊谷 武 (院長), 田村文誉 (科長)  
講師 児玉実穂 (医長), 高橋賢晃, 町田麗子, 戸原 雄 (多摩医長), 山田裕之, 山田幸  
助教 関妃美子, 磯田友子, 小川賀子, 元開早絵, 古屋裕康, 新藤広基, 仲澤裕次郎, 田中公美, 宮下大志, 岡山浩美 (総合診療科) (併任), 小林清佳 (歯科麻酔全身管理科) (併任)  
非常勤歯科医師 柴崎育美, 市川陽子  
臨床教授 松本宜明, 米山武義, Michael E. Groher, 大井裕子  
臨床准教授 花形哲夫, 吉田光由, 五島朋幸, 今井庸子  
臨床講師 森 寛子, 田代晴基, 鈴木 亮, 佐々木由香, 西方浩一, 須釜慎子, 大石朋子, 岡澤仁志, 平澤玲子, 山根由紀子, 佐々木力丸, 佐川敬一朗, 横田悠里, 後藤新平, 永島圭悟  
医療職員 水上美樹 (歯科衛生士), 西澤加代子 (歯科衛生士), 田中祐子 (歯科衛生士), 有友たかね (歯科衛生士), 作田妙子 (歯科衛生士), 富田浩子 (歯科衛生士), 簾内彩子 (歯科衛生士), 島村結岐乃 (歯科衛生士), 高島良代 (言語聴覚士), 新藤久美 (言語聴覚士), 尾関麻衣子 (管理栄養士), 水越新人 (医療ソーシャルワーカー)  
事務職員 中山和治, 町田保子, 前川 岳  
大学院生 加藤陽子

## 2. 研究テーマ

- 1) 摂食嚥下リハビリテーション Dysphagia rehabilitation.
- 2) 高齢者に対する歯科診療 Dental treatment for older adults.
- 3) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 4) 摂食嚥下障害者の咀嚼運動 Masticatory movement in older patients with eating difficulties.
- 5) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 6) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 7) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral health care.
- 8) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 9) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 10) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting burden.
- 11) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成プログラムの構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.
- 12) Withコロナ時代におけるVRを用いた新たな教育システムの構築 Constructing a new education system using VR in the Covid-19 era.

## 3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

### 受賞

- 1) 日本老年歯科医学会第32回学術大会優秀課題口演賞, 宮下大志, 2021年6月12日, 嚥下障害患者における嚥下造影検査で観察される嚥下動態とサルコペニアとの関連性
- 2) 第38回日本障害者歯科学会学術大会優秀発表賞, 田中祐子, 2021年10月11日, 摂食嚥下外来に訪れた低出生体重児の実態

### 特許

記載事項なし

## 4. 学位取得者

- 1) 加藤陽子: 健康高齢女性の咀嚼運動と口腔および身体機能との関連性  
Association between masticatory movement and oral and physical function in healthy older women, 2022年1月7日, 日本歯科大学, 博士(歯学).

## 5. 主催学会等

- 1) 「食べるを支える」口腔機能発達不全症研修会, オンライン, 2021年4月24日, 講師: 田村文誉, 山田裕之, 水上美樹.
- 2) 「食べるを支える」口腔機能発達不全症研修会, オンライン, 2021年5月27日, 講師: 田村文誉.
- 3) 「食べるを支える」口腔機能発達不全症研修会, オンライン, 2021年6月17日, 講師: 田村文誉, 高島良代, 尾関麻衣子.
- 4) 育児中のお母さんお父さんのための子どもの食べるを支える研修会, 小金井市, 2021年8月24日, 講師: 磯田友子.
- 5) 赤ちゃんが自分で食べるということ, オンライン, 2021年11月19日, 12月17日, 講師: 田村文誉, 西方浩一(文京学院大学保健医療技術学部 作業療法学科).
- 6) 摂食嚥下超入門ふたたび, オンライン, 2021年11月25日, 12月9日, 講師: 菊谷武.
- 7) 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック研修会, オンライン, 2022年2月12日, 講師: 菊谷武, 高橋賢晃.

## 6. 国際交流状況

- 1) 多摩クリニックおよび飯田橋の口腔リハビリテーション科のメンバーは, Redlands 大学前教授兼口腔リハビリテーション科の臨床教授であるMichael E. Groher先生から, 嚥下障害患者のケースカンファレンスの指導を受けた. 第1回目は2021年7月12日, 第2回目は9月13日にそれぞれオンラインで行われた.

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団助成, (継続), 2021~2022年度, 歯科衛生士の医療的ケア児(在宅)に対する訪問歯科診療の実態調査, 水上美樹(代表), 田村文誉, 田中祐子, 吉本美枝, 鈴木厚子, 田中 恵, 小坂美樹(分担), 1,250,000円, 2021年度, 1,250,000円
- 2) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), (継続), 2018~2021年度, 高度医療受給している小児在宅患者に対する遠隔診療を導入した口腔管理システムの構築, 町田麗子(代表), 菊谷武, 田村文誉(分担), 4,420,000円, 2021年度, 390,000円
- 3) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 若手研究, (継続), 2020~2023年度, 在宅歯科医療推進に関する科学的根拠構築のための研究, 田中公美(五十嵐公美)(代表), 4,160,000円, 2021年度, 520,000円
- 4) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(B), (継続), 2018~2020年度(期間延長), 機械学習を用いた嚥下造影検査診断補助システムの開発, 菊谷武(代表), 川口孝泰, 井出吉昭(分担), 5,330,000円, 2021年度, 1,633,249円
- 5) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), (新規), 2021~2023, 人生の最終段階に向かう高齢患者に対する歯科診療指針の作成, 菊谷武(代表), 高橋賢晃, 白野美和(分担), 4,030,000円, 2021年度, 2,340,000円
- 6) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), (継続), 2018~2020年度(期間延長), 嚥下障害患者の食行動モニタリングによる誤嚥性肺炎の予測, 大石朋子(代表), 菊谷武(分担), 4,290,000円, 2021年度, 100,000円
- 7) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), (継続), 2020~2022, 人工知能による深層学習を応用した運動障害性咀嚼障害の多軸診断支援システムの開発, 大野 彩(代表), 菊谷武(分担), 4,420,000円, 2021年度, 50,000円
- 8) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), (新規), 2021~2023, 経皮的電気刺激による抵抗源を利用した新たな舌訓練法についての研究, 高橋賢晃(代表), 戸原 雄(分担), 3,380,000円, 2021年度, 1,950,000円

- 9) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），若手研究，（新規），2021～2023，サルコペニアによる嚥下障害に対する全身へのレジスタンス訓練効果の検証，仲澤裕次郎（代表），4,290,000円，2021年度，3,380,000円
- 10) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），若手研究，（新規），2021～2023，Withコロナ時代におけるVRを用いた新たな教育システムの構築，戸原 雄（代表），4,160,000円，2021年度，3,250,000円
- 11) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），若手研究，（新規），2021～2023，Withコロナ時代におけるVRを用いた新たな教育システムの構築，戸原 雄（代表），4,160,000円，2021年度，3,250,000円
- 12) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2019～2021，ダウン症児の吃症状における関連要因の分析とその対処法の確立，新藤久美（代表），3,900,000円，2021年度，
- 13) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），若手研究，（継続），2019～2021，サルコペニアによる摂食嚥下障害の新たな診断方法開発とリハビリテーション効果の検証，横田悠里（代表），4,290,000円，2021年度，
- 14) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（新規），2021～2023，小児の偏食改善を目的とした多職種連携型口腔機能改善アプローチへの新たな開発，田村文誉（代表），菊谷 武，水上美樹，川嶋 舟，高橋 智，田部絢子（分担），4,030,000円，2021年度，260,000円
- 15) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2018～2021，小児期における口腔機能発達評価指針作成のための調査研究，木本茂成（代表），浅里 仁，藤田茉衣子，田村文誉（分担），4,160,000円，2021年度，100,000円
- 16) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2019～2021，発達障害等の子どもの食の困難と子ども・家族包括型発達支援システムの開発，田部絢子（代表），高橋 智，田村文誉（分担），4,290,000円，2021年度，100,000円

## 8. 研究業績

### A. 著書

1. 水上美樹（分担執筆）：Part2 代表的な原疾患、障害児の摂食機能の発達と粗大運動・微細運動の獲得との関係，38, 51-44, 54, 金子芳洋，Michael E. Groher，田村文誉，子どもの食べる機能の障害とハビリテーション，1版，医歯薬出版株式会社，東京，2021，ISBN 978-4-263-44637-9.
2. 水上美樹（分担執筆・編集）：ダウン症候群児の特徴をふまえた摂食嚥下機能評価と摂食嚥下指導の進め方のヒント，摂食機能訓練1 間接訓練，摂食機能訓練2 直接訓練，73, 95, 107-76, 106, 115, 田村文誉，水上美樹，ダウン症の子どもの摂食嚥下ハビリテーション，1版，医歯薬出版株式会社，東京，2021，ISBN 978-4-263-44639-3.
3. 水上美樹（分担執筆）：口腔の機能，22-27，一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会，歯科予防処置論・歯科保健指導論，2版，医歯薬出版株式会社，東京，2022，ISBN 978-4-263-42863-4.
4. 水上美樹（共著・編集）：，最新歯科衛生士教本編集委員会，小児歯科，2版，医歯薬出版株式会社，東京，2021，ISBN 978-4-263-42865-8.
5. 水上美樹（分担執筆）：嚥下食と栄養，330-332，森戸光彦，老年歯科医学 ，2版，医歯薬出版株式会社，東京，2022，ISBN 978-4-45870-9.
6. 尾関麻衣子（分担執筆）：第1章第6節 在宅高齢者の栄養的現状、医療的ケア児の増加，23-25，田中弥生，一般社団法人日本在宅栄養管理学会，訪問栄養食事指導実践テキストブック，1版，株式会社メディア・ケアプラス，東京，2021，ISBN 978-4-908399-11-4.
7. 尾関麻衣子（分担執筆）：3編 調理・食事指導，87-94，田村文誉，水上美樹，ダウン症の子どもの摂食嚥下ハビリテーション，1版，医歯薬出版株式会社，東京，2021，ISBN 978-4-263-44639-3.
8. 尾関麻衣子（分担執筆）：Part3 脳性麻痺（小児），128-138，上島順子，江頭文江，園井みか，本川佳子，摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士のための摂食嚥下障害者の栄養アセスメント実践マニュアル，1版，医歯薬出版株式会社，東京，2021，ISBN 978-4-263-70816-3.

9. 磯田友子（分担執筆）：2編 口腔機能の発達（特に口唇力について）、症例1, 2, 4, 87-94, 田村文誉, 水上美樹, ダウン症の子どもの摂食嚥下ハビリテーション, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44639-3.
10. 菊谷 武（共著）, 栄養士ダイアリー2022, 株式会社 日本医療企画, 東京, , ISBN 978-4-86729-075-0.
11. 菊谷 武（共著）, 「人生100年時代」のインプラント治療の考え方, 1版, 株式会社 永末書店, 東京, 2021年, ISBN 978-4-8160-1390-4.
12. 菊谷 武（分担執筆）：ミールラウンドのポイント, 32-35, 上島順子, 江頭文江, 園井みか, 本川佳子, 摂食嚥下障害者の栄養アセスメント実践マニュアル, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2022年, ISBN 978-4-263-70816-3.
13. 田村文誉（ビデオ）, DH-KEN「歯科における子どもの食育と口腔機能発達不全症への対応」, 1版, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2022.
14. 田村文誉（単著・編集）：Part2 摂食嚥下障害の基本, かかわり方の基本 ①小児の摂食嚥下障害とは, ②小児の摂食嚥下障害の原因, ③医療的ケア児の理解, ④摂食指導にかかわる職種とは, 31-50, 監修 金子芳洋, Michael E. Groher, 編著 田村文誉, 子どもの食べる機能の障害とハビリテーション 患児指導用絵カード付き, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44637-9.
15. 田村文誉, 水上美樹（共著・編集）：Part2 摂食嚥下障害の基本, かかわり方の基本 ⑤障害児の摂食機能発達と粗大運動・微細運動の獲得との関係, 51-54, 監修 金子芳洋, Michael E. Groher, 編著 田村文誉, 子どもの食べる機能の障害とハビリテーション 患児指導用絵カード付き, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44637-9.
16. 田村文誉（単著・編集）：Part3 上手に食べられないのはどうしてでしょう？ ①摂食指導の考え方、心構え ②診察の流れ、注意点 ③摂食嚥下機能の評価・検査 ④摂食嚥下障害の特徴的な症状と随伴症状 ⑤栄養指導 COLUM「授乳・離乳の支援ガイド（2019年改訂版）のポイント, 55-78, 監修 金子芳洋, Michael E. Grohe, 編著 田村文誉, , 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44637-9.
17. 田村文誉（単著・編集）：第1章 小児在宅歯科医療の必要性 1在宅療養時の実態, 10-12, 編集 一般社団法人日本障害者歯科学会診療ガイドライン作成委員会, 協力 公益社団法人日本小児歯科学会, 小児在宅歯科医療の手引き, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44649-2.
18. 田村文誉, 山田裕之, 玄 景華（共著・編集）：第5章 小児在宅歯科診療の実際 4具体的な内容 ④摂食嚥下リハビリテーション, 56-70, 編集 一般社団法人日本障害者歯科学会診療ガイドライン作成委員会, 協力 公益社団法人日本小児歯科学会, 小児在宅歯科医療の手引き, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44649-2.
19. 田村文誉（単著）, 「食」をとおして育つもの・育てたいもの, 1版, 株式会社 ぎょうせい, 東京, 2021, ISBN 978-4-324-10995-3.
20. 田村文誉（単著・編集）：3編 摂食指導のプロトコール 摂食指導の考え方, 52-53, 編著 田村文誉, 水上美樹, ダウン症の子どもの摂食嚥下ハビリテーション, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44639-3.
21. 田村文誉（単著・編集）：3編 摂食指導のプロトコール 摂食指導の戦略にはいくつかのパターンがある, 54-55, 編著 田村文誉, 水上美樹, ダウン症の子どもの摂食嚥下ハビリテーション, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44639-3.
22. 田村文誉（単著・編集）：3編 摂食指導のプロトコール 摂食指導の実際, 56-72, 編著 田村文誉, 水上美樹, ダウン症の子どもの摂食嚥下ハビリテーション, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44639-3.
23. 田村文誉, 水上美樹（共著・編集）：3編 摂食指導のプロトコール ダウン症児の特徴を踏まえた摂食嚥下機能評価と摂食指導の進め方のヒント, 73-76, 編著 田村文誉, 水上美樹, ダウン症の子どもの摂食嚥下ハビリテーション, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44639-3.
24. 田村文誉（単著）, 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.

25. 田村文誉 (単著), 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
26. 田村文誉, 白瀬敏臣 (共著), グランドデザインから考える小児保健ガイドブック, 1版, 診断と治療社, 東京, 2021, ISBN 978-4-7878-2473-8.
27. 田村文誉 (単著), 老年歯科医学, 2版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2022, ISBN 978-4-263-45870-9.
28. 高橋賢晃 (分担執筆): ダウン症の子どもに処方される薬の副作用, 30-30, 田村文誉, 水上美樹, ダウン症の子どもの摂食嚥下リハビリテーション, 1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44639-3.
29. 山田裕之 (共著・編集): 3章6. 知的能力障害, 8. ダウン症, 91108-98114, 小方清和, 小坂美樹, 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理, 初版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44634-8.
30. 山田裕之 (共著・編集): 症例6, 7, 8, 9, 137-148, 田村文誉, 水上美樹, ダウン症の子どもの摂食嚥下リハビリテーション, 初版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2021, ISBN 978-4-263-44639-3.
31. 水上美樹 (共著・編集): , 前田健康, 増田裕次, 山根 瞳, 遠藤圭子, 水上美樹, 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学, 第1版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2022, ISBN 978-4-263-42605-0.

## B. 原著

- 1) Kato Y, Kikutani T, Tohara T, Takahashi N, Tamura F: Masticatory movements and food textures in older patients with eating difficulties, ☆◎ Gerontology, 2022; 39(1): 90-97, doi: 10.1111/ger.12596.
- 2) Im I, Carnaby GD, Takahashi N, Dungan S, Crary MA: Clinical Swallowing Profile Change in HNC Patients Treated with C/RT, ☆◎Laryngoscope, 2021; 131: 1873-1880, doi: 10.1002/lary.29266.
- 3) Kikutani T, Ichikawa Y, Kitazume E, Mizukoshi A, Tohara T, Takahashi N: COVID-19 Infection-Related Weight Loss Decreases Eating/Swallowing Function in Schizophrenic Patients. Nutrients, 2021; 13(4): 113, doi: 10.3390/nut13041113.
- 4) Yanagida R, Hara K, Iida T, Tohara T, Tamada Y, Minakuchi S: Jaw-Opening Force as a Useful Index for Dysphagia: A Cross-Sectional and Multi-Institutional Study, ☆◎Gerontology, 2022; 24: 1-8, doi: 10.1159/000521392.
- 5) Hama K, Iwasa Y, Ohara Y, Iwasaki M, Ito K, Nakajima J, Tohara T (8th) (17 authors): Pneumonia incidence and oral health management by dental hygienists in long-term care facilities: A 1-year prospective multicentre cohort study, ☆◎Gerodontology, 2021; 1-10, doi: 10.1111/ger.12604.
- 6) Nagashima K, Kikutani T, Takahashi N, Kato Y, Sagawa K, Tohara T, Tamura F (7th) (7 authors): Development of the Sakiika Transport Test: A Practical Screening Method for Patients with Oral-phase Dysphagia, ☆◎J Prosthodont Res., 2021; , doi: 10.2186/jpr.JPR\_D\_20\_00290.
- 7) Kato Y, Kikutani T, Sagawa K, Tamura F: Association between masticatory movement and oral and physical function in healthy older women, ☆◎J Prosthodont Res., 2021; , doi: 10.2186/jpr.JPR\_D\_20\_00285. (学位論文)
- 8) Tanaka K, Kikutani T, Tohara T, Sato S, Ichikawa Y, Takahashi N: Two case reports using a proposed oral risk assessment tool for older people near the end of life, ☆◎◇Clinical and Experimental Dental Research, 2022; 1-10, doi: 10.1002/cre2.566.

## C. 総説・解説

- 1) 田村文誉, 加藤 篤, 石黒 光, 江草正彦, 尾崎由衛, 玄 景華: 日本障害者歯科学会会員における触覚過敏の脱感作法の臨床と教育について, ○障歯誌, 2021; 42(2): 73-83.
- 2) 高井理人, 田村文誉, 菊谷 武, 小方清和, 大島昇平, 八若保孝: 小児在宅歯科医療に関する全国調査, ○障歯誌, 2021; 42(2): 91-98.

- 3) 駒形悠佳, 山田裕之, 田村文誉, 保母妃美子, 礪田友子, 田中祐子: 摂食嚥下専門外来において口腔機能発達不全症と診断された患者の実態調査, ○障歯誌, 2021; 42(2): 196-202.
- 4) 古屋裕康, 菊谷 武, 田中公美, 仲澤裕次郎, 保母妃美子, 礪田友子, 山田裕之(7th), 戸原 雄(8th), 高橋賢晃(9th), 田村文誉(10th) (10 authors): 新型コロナウイルス感染症流行下におけるオンライン診療に対する摂食嚥下障害患者の意識調査, ○障歯誌, 2021; 42(2): 210-214.
- 5) 弘中祥司, 田村文誉, 村上旬平, 内海明美, 江草正彦, 遠藤眞美: 日本障害者歯科学会診療ガイドライン作成委員会報告 COVID-19感染拡大下あるいはそれに近似した状況下における小児在宅歯科医療に関するアンケート, ○障歯誌, 2021; 42(2): 99-109.
- 6) 田村文誉: 第68回日本小児保健協会学術集会-大きな和で育む子どもの未来- 乳幼児の歯や口の機能の発達とその支援について. 小児歯科臨床, 2021; 26(11): 28-32.
- 7) 田村文誉: 第59回日本小児歯科学会大会-新しい時代の小児歯科、維新の風は南から- 子どもの口腔機能の診かた. 小児歯科臨床, 2021; 26(10): 17-22.
- 8) 田村文誉: 障害児の歯科移行期医療について 障害児の歯科移行期医療における摂食機能療法の戦略. 小児歯科臨床, 2022; 27(3): 34-40.
- 9) 田村文誉: 編集後記. 老年歯学, 2021; 36: 203.
- 10) 高橋賢晃, 戸原 雄, 田村文誉, 菊谷 武: 歯科界の潮流『今日の歯科治療』歯科訪問診療における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対策. 歯学, 2021; 109: 18-21.

#### D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

- 1) 菊谷 武: 多職種がそろった老健施設が地域の摂食嚥下リハビリの引き上げを. 老健, 2021; 32(9): 14-16.
- 2) 田村文誉: トピックス 口腔機能の発達について①「食べることにかかわること」. 保育と保健ニュース, 2021; 93: 3.
- 3) 田村文誉: 口腔機能の発達について②「摂食機能発達のマイルストーン」. 保育と保健ニュース, 2021; 94: 3.
- 4) 田村文誉: 口腔機能の発達について③「口腔機能発達不全症と摂食嚥下障害」. 保育と保健ニュース, 2021; 95: 3.
- 5) 田村文誉: 食べることへの支援. 発達教育, 2021; 5: 4-11.
- 6) 児玉実穂, 鈴木麻美: 開業医のための マタニティ歯科外来入門 マイナス1歳からの口腔ケア 12. 連載のまとめ-母子健康手帳、低体重児出産、妊婦歯科健診、Babyアプリ. 日本歯科評論, 2021; 81(6): 168-169.
- 7) 高橋賢晃: 訪問歯科診療のはじめの一步. 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 2021; 46: 2-5.
- 8) 菊谷 武: 摂食嚥下障害における歯科医師の役割. 日医工株式会社.
- 9) 菊谷 武: お口の健康、見直してみませんか. 素敵なあしたへ, 2021; 10月: 3-9.
- 10) 田村文誉: 第68回日本小児保健協会学術集会 シンポジウムⅠ 沖縄の子どもたち～むし歯減少の先に見えてくるもの～ 乳幼児の歯や口の機能の発達とその支援について. 小児保健研究, 2021; 80(6): 722-725.
- 11) 高橋賢晃, 戸原 雄, 田村文誉, 菊谷 武: 歯科訪問診療における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対策. 歯学 秋季特集号, 2021; 109: 18-21.
- 12) 田村文誉, 木本茂成, 弘中祥司, 水上美樹, 田沼直之, 小林隆太郎: 小児期の口腔機能発達を支援するために「お口の発達サポート」キャラクター・ハビルちゃん誕生までの歩み. 歯界展望, 2021; 138(5): 869-872.
- 13) 田村文誉, 木本茂成, 弘中祥司, 水上美樹, 田沼直之, 小林隆太郎: 小児期の口腔機能発達に支援するために「お口の発達サポート」キャラクター・ハビルちゃん誕生までの歩み. 歯界展望, 2021; 138(5): 869-872.
- 14) 水上美樹: 感覚過敏を取り除く脱感作の方法が知りたいです. 歯科衛生士, 2021; 45: 82-83.
- 15) 田村文誉: シリーズ「小児在宅歯科医療を知る」第1回小児在宅歯科医療の背景. 行歯会だより, 2021; 165: 1-5.

- 16) 菊谷 武: 摂食嚥下障害患者に見られる低栄養の問題. 栄養経営エキスパート, 2021; 3, 4月: 40-43.
- 17) 菊谷 武: ユニバーサルデザインフードの活用を考える 嚥下調整食管理栄養士. ヘルスケア・レストラン, 2021; 29巻(12月): 11-17.
- 18) 菊谷 武: 介護報酬改定特別対談 通所者へ積極的に介入し重症化予防に貢献しよう. ヘルスケア・レストラン, 2021; 29巻(4月): 11-15.
- 19) 菊谷 武: オーラルフレイル予防で健康寿命を延ばそう. へるすあっぷ21, 2021; 448(2月): 43-49.
- 20) 菊谷 武: 舌を鍛えよう!. からころ, 2021; 64: 12-14.
- 21) 菊谷 武: こんな患者さんが来たら?. アポロニア21, 2021; 325(1月): 18-22.
- 22) 菊谷 武: ためしてガッテン (2021年6月2日, 9日). NHK.
- 23) 菊谷 武: きょうの健康 (2021年4月14日21日, 11月24日, 12月1日). NHK.
- 24) 田村文誉: 第3回JSD乳幼児オンライン勉強会より「食べる機能の育て方」前編・後編. JDS news, 2021; 582: 16-17.
- 25) 田村文誉: 第3回JSD乳幼児オンライン勉強会より「食べる機能の育て方」後編. JDS news, 2021; 582: .
- 26) Kikutani T, Shirobe M, Watanabe Y, Tanaka T, Hirano H, Nakajo K: Effect of an Oral Frailty Measures Program on Community-Dwelling Elderly People: A Cluster-Randomized Controlled Trial. Gerontology, 2021; Jul: 1-10.
- 27) 菊谷 武: スベラカーゼの広がり. Food care通信, 2021; vol.2: 6.
- 28) 田村文誉, 白瀬敏臣: 特集 その患者さん、ADHDかも?. Dhstyle, 2021; 196(15): 17-32.
- 29) 田村文誉: 私のコミュニケーション作法 話せなくても伝わるもの. DENTAL DIAMOND, 2021; 46(15): 204-205.
- 30) 町田麗子, 田村文誉, 古屋裕康, 高橋賢晃, 児玉実穂, 元開早絵, 永島圭悟(7th), 塩原裕一朗(8th), 菊谷 武(9th) (9 authors): 在宅療養児に対して実施したオンラインによる摂食嚥下リハビリテーション, ○日本障害者歯科学会雑誌, 2021; 42(2): 181-188.
- 31) 古屋裕康, 菊谷 武, 田中公美, 仲澤裕次郎, 佐川敬一朗, 横田悠里, 保母妃美子(7th), 礪田友子(8th), 山田裕之(9th), 戸原 雄(10th), 田村文誉(11th) (11 authors): COVID-19蔓延下における摂食嚥下障害患者へのオンライン診療の取り組み. 老年歯科医学, 2021; 35(4): 266-273.
- 32) 柴崎育美, 礪田友子, 田村文誉, 西澤加代子, 菊谷 武: 自閉スペクトラム症児の偏食改善に対して摂食機能療法が奏功した一例. 日本口腔リハビリテーション学会雑誌, 2021; 34(1): 58-63.
- 33) 高橋賢晃, 戸原 雄, 尾関麻衣子, 田村文誉, 菊谷 武: ポストグラデュエート・コース<Aコース>在宅歯科医療とミールラウンド&カンファレンスの進め方のコツ. 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 2022; 47(3): 18-21.
- 34) 田村文誉: 医療的ケア児の歯の健康を保護者と二人三脚で守る. 厚生労働, 2022; 1月号: 22-23.
- 35) 水口俊介, 小笠原正, 會田英紀, 有友たかね, 伊藤加代子, 大渡凡人: 日本老年歯科医学会 COVID-19パンデミック下における老年歯科医学教育についての各大学の対応—第2報 臨床実習—. 老年歯科医学, 2021; 35(4): 88-96.
- 36) 水口俊介, 小笠原正, 會田英紀, 有友たかね, 伊藤加代子, 大渡凡人: 日本老年歯科医学会 COVID-19パンデミック下における老年歯科医学教育についての各大学の対応—第1報 講義、試験—. 老年歯科医学, 2021; 35(4): 77-87.

## E. 翻訳

特記事項なし

## F. 学術大会発表

- 1) 尾関麻衣子, 福井智子, 加藤真莉, 戸原 雄, 飯島裕之. 歯科衛生士による訪問指導で栄養状態の回復に寄与した症例. 老年歯学, 2021; 36(2): 168-169.
- 2) 柳田陵介, 原 豪志, 中川量晴, 並木千鶴, 飯田貴俊, 戸原 雄, 玉田泰嗣, 水口俊介, 山口浩平, 吉見佳那子, 中根綾子, 戸原 玄. 開口力は嚥下機能低下の指標として有効である 多施設共同研究の結果より. 老年歯学, 2021; 36(2): 111-112.

- 3) 仲澤 裕次郎, 田中公美, 横田悠里, 佐川敬一朗, 古屋裕康, 礪田友子, 保母妃美子, 山田裕之, 戸原 雄, 田村文誉, 菊谷 武. VR画像を用いた歯学部学生における臨床実習の効果について. 老年歯学, 2021; 36(2): 167.
- 4) 古屋裕康, 田村文誉, 田中公美, 仲澤裕次郎, 保母妃美子, 礪田友子, 田中祐子, 山田裕之, 町田麗子, 戸原 雄, 菊谷 武. 新型コロナウイルス感染症流行下におけるオンライン診療に対する意識調査. 老年歯学, 2021; 36(2): 135.
- 5) 宮下大志, 菊谷 武, 永島圭悟, 五十嵐公美, 田村文誉. 嚥下障害患者における嚥下造影検査で観察される嚥下動態とサルコペニアとの関連性. 老年歯学, 2021; 36(2): 112.
- 6) 富田浩子, 田中祐子, 有友たかね, 田中公美, 佐藤志穂, 佐々木力丸, 菊谷 武, 大井裕子. 看取り期における在宅がん患者に対する地域連携による口腔健康管理. 老年歯学, 2021; 36(2): 107-108.
- 7) 礪田友子. 家族による虐待を疑われた在宅要介護高齢患者に対する多職種連携による誤嚥性肺炎の予防の取り組み. 老年歯学, 2021; 36(2): 41.
- 8) 田中祐子, 作田妙子, 田村文誉, 水上美樹, 西澤加代子, 山田裕之, 保母妃美子, 礪田友子, 菊谷 武. 摂食嚥下外来に訪れた低出生体重児の実態. 日本歯科医師会雑誌, 2021; 74(4): 165.
- 9) 大井裕子, 菊谷 武, 田中公美, 高橋賢晃, 富田浩子, 有友たかね, 森山久美. 在宅がん患者の看取りプロセスにおいて医師は歯科との連携をいつ、どのように提案するのか? 現状確認ツールIMADOKOを利用した医科歯科連携. 日本在宅医療連合学会大会, 2021; 講演抄録集3回: 284.
- 10) 菊谷 武, 大井裕子, 高橋賢晃, 市川陽子, 佐藤志穂, 田中公美, 富田浩子, 有友たかね, 森山久美. 在宅でのがん看取り支援における歯科訪問診療の役割. 日本在宅医療連合学会大会, 2021; 講演抄録集3回: 260.
- 11) 森山久美, 大井裕子, 菊谷 武, 高橋賢晃, 田中公美, 富田浩子, 有友たかね. 終末期がん患者の希望に添った食べる支援を実践するための食欲不振の背景にある要因調査と対応策. 日本在宅医療連合学会大会, 2021; 講演抄録集3回: 260.
- 12) 鰐原賀子, 瀬木谷彰仁, 高橋賢晃, 元開早絵, 新藤広基, 柴崎育美, 田辺知宏, 菊谷 武. 大腿骨骨折患者における 口腔機能, 嚥下機能, 栄養状態に関する予備調査. 第26・27回 合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 2021; 516. [https://www.jsdr.or.jp/wp-content/uploads/file/meeting/annual\\_meeting\\_no26-27\\_abstracts.pdf](https://www.jsdr.or.jp/wp-content/uploads/file/meeting/annual_meeting_no26-27_abstracts.pdf).
- 13) 水上美樹. 新型コロナウイルス感染拡大下における摂食嚥下障害児に対するオンライン診療に関するアンケート調査. 第24回 日本歯科医学会学術大会, 2021; 74(4): 431.
- 14) 高島良代, 南 久美, 西脇恵子, 新藤久美. 外来専門クリニックにおけるオンライン言語聴覚療法の取り組み. 言語聴覚研究, 2021; 18(3): 230.
- 15) Tamura F, Kikutani T, Kodama M, Machida R, Yamada H, Hobo K, Isoda M, Genkai S, Mizukami M, Tanaka Y, Sakuda T. Usefulness of telemedicine on disabled children receiving feeding therapy. Program of 26th & 27th Joint meeting of Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, 2021; [http://www.congre.co.jp/wds/program/files/WDS\\_Program\\_poster.pdf?20211013](http://www.congre.co.jp/wds/program/files/WDS_Program_poster.pdf?20211013).
- 16) 猪俣 徹, 森谷順子, 田中秀弥, 佐藤 瞳, 本間真弓, 南 久美, 西脇恵子, 田中淳平, 米野貴彦, 新藤広基, 元開早絵, 小川賀子, 佐々木力丸, 高橋賢晃. 頭頸部癌化学放射線治療例における予防的胃瘻造設術施行患者の使用状況の検討. JSPEN, 2021; 3(1): 513.

## G. 講演

### 1) 特別講演・シンポジウム等での講演

- 1) 田村文誉: シンポジウム I 口腔機能発達不全症の基礎と臨床 子どもの口腔機能の診かた, 第59回日本小児歯科学会大会, シンポジウム, オンライン (2021年6月6日~6月20日).
- 2) 菊谷 武: 在宅患者に対する口腔リハビリテーション診療, 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会, シンポジウム, オンライン (2021年6月10日~13日).
- 3) 菊谷 武: 認知症の発症や予後に影響を及ぼす栄養・食事について考える, 第32回日本老年医学会, シンポジウム, オンライン (2021年6月11日).



- 4) 菊谷 武：口腔リハビリテーション多摩クリニックにおけるIoT・AIや遠隔機器を活用した医療・保健活動 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックが実践するICTを用いた教育および診療への応用について，第32回日本老年歯科医学会学術大会，シンポジウム，オンライン（2021年6月12日）。
- 5) 菊谷 武：大学の立場から：歯科訪問診療の実態と課題，第32回日本老年歯科医学会，シンポジウム，オンライン（2021年6月12日）。
- 6) 菊谷 武：口腔内環境を見える化する一細菌カウンタの臨床応用のすすめー，第32回日本老年歯科医学会，スポンサーセッション，オンライン（2021年6月12日）。
- 7) 菊谷 武：ウィズ・コロナにおける新しい在宅歯科医療のあり方，第33回日本老年歯科医学会学術大会，シンポジウム，オンライン（2021年6月13日）。
- 8) 田村文誉：シンポジウム1 沖縄の子どもたち～むし歯減少の先に見えてくるもの 乳幼児の歯や口の機能の発達とその支援について，第68回日本小児保健協会学術集会，シンポジウム，オンライン（2021年6月16日～6月20日）。
- 9) 菊谷 武：「介護報酬の改定による介護保険施設からの在宅訪問栄養指導と連携」 歯科医師の立場から，日本在宅栄養管理学会 合同ブロック大会，シンポジウム，オンライン（2021年7月24日）。
- 10) 高橋賢晃：摂食嚥下リハビリテーションのコツを知る！，第26・27回合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会，プレコングレスセミナー，愛知（名古屋）（2021年8月19日）。
- 11) 菊谷 武：食べるがつながるオーラルマネジメント，第26・27回合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会，シンポジウム，名古屋国際会議場（2021年8月21日）。
- 12) 田村文誉：小児：行動調整，第26・27回合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会，教育講演，オンライン（2021年8月21日）。
- 13) Tamura F: The Japanese Approach to Pediatric Dysphagia Rehabilitation, World Dysphagia Summit2021, シンポジウム, Online（2021年8月21日）。
- 14) 古屋裕康：嚥下障害症例へのオンライン診療の効果と展望，第26・27回合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会，シンポジウム，オンライン（2021年8月21日）。
- 15) 菊谷 武：とろみ自動調理器 導入のメリット，第26・27回合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会，ランチョンセミナー，名古屋国際会議場（2021年8月22日）。
- 16) 菊谷 武：「食べる・飲む」機能の障害と口腔リハビリテーション その仕組と展望，第24回 日本歯科医学会学術大会，シンポジウム，オンライン（2021年9月23日）。
- 17) 尾関麻衣子：歯科と栄養が会うとき ～フレイル予防のための食事指導～，第41回日本歯科薬物療法学会学術大会，シンポジウム，神奈川（2021年9月25日）。
- 18) 古屋裕康：オンライン診療と摂食嚥下リハビリテーション，第7回 歯学会ウインターミーティング，シンポジウム，オンライン（2021年12月11日）。
- 19) 菊谷 武：口腔と全身の関連を考える，ジャパンオーラルヘルス学会第23回学術大会，シンポジウム，オンライン（2021年12月6日～19日）。
- 20) 田村文誉：臨床医として感じる現状と課題，日本学術会議歯学委員会・病態系歯学分科会主催公開講演会 歯学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ＝課題と展望について～，シンポジウム，オンライン（2022年1月13日）。
- 21) 菊谷 武：在宅医療から見たインプラント治療，日本口腔インプラント学会 第41回 近畿・北陸支部学術大会，シンポジウム，大阪歯科大学（天満橋キャンパス）（2022年2月11日～12日）。
- 22) 田村文誉：小児の摂食嚥下機能の発達と障害，北海道医療大学生涯学習「北海道医療大学同窓会コラボ☆講演会，講演，オンライン（2022年3月5日）。

## 2) 講演会・研究会・研修会等での講演

- 1) 田村文誉：食べる機能の育て方，JDS(日本ダウン症協会) 乳幼児期オンライン勉強会，オンライン（2021年4月21日）。
- 2) 田村文誉：食べる機能の発達とその支援，北海道子供の歯を守る会主催 道民公開講座，オンライン（2021年4月24日）。
- 3) 田村文誉：子どもの口腔機能と摂食嚥下障害，東京情報大学学生講義，オンライン（2021年5月7日）。

- 4) 田村文誉: 子どもの発達を理解した支援と多職種連携, 東京情報大学学生講義, オンライン (2021年5月7日).
- 5) 田村文誉: 特別支援学校の子供たちの摂食嚥下機能について, 都立特別支援学校の学校給食摂取標準改訂に関する研修会, オンライン (2021年5月21日).
- 6) 戸原 雄: ミールラウンドのための視点, 訪問歯科協会オンデマンド口座, オンライン (2021年5月23日).
- 7) 田村文誉: 在宅療養児の生活を支える□小児在宅歯科医療, 第11回北信越障害者歯科臨床研究会, オンライン (2021年5月30日).
- 8) 田村文誉: 小児の口腔機能発達不全症の考え方, 石川県歯科医師会講習会, オンライン (2021年6月8日).
- 9) 田村文誉: 子どもの食育  
口腔機能発達不全症について, 歯と口の健康週間 石川県民公開講座, オンライン (2021年6月13日).
- 10) 田村文誉: 乳幼児期の食育支援 ~子どもの「食べる力」を育むための支援とは~, 令和3年度保育所・幼稚園歯科保健担当者研修会, オンライン (2021年7月5日).
- 11) 田村文誉: 子どものための在宅小児歯科セミナー, 大塚製薬勉強会, オンライン (2021年7月15日).
- 12) 尾関麻衣子: 口腔機能の発達に基づいて考える子どもの栄養, 令和3年度滋賀県栄養士会生涯教育研修会, 滋賀 (2021年8月1日).
- 13) 田村文誉: 食べる機能の発達と支援, 社会福祉法人鹿児島県保育連合会 令和3年度乳幼児の摂食嚥下研修会, オンライン (2021年8月2日).
- 14) 田村文誉: 「口腔機能の基礎と口腔マッサージ等の理解」「体験を通じた摂食介助の基礎・基本」, 東京都立小平特別支援学校校内研修会, オンライン (2021年8月27日).
- 15) 菊谷 武: 口腔機能, 大妻女子大学管理栄養士スキルアップセンター夏季研修会, オンライン (2021年8月28日).
- 16) 田村文誉: 食べる機能の発達, 令和3年度 滋賀県栄養士会 生涯教育研修会, オンライン (2021年8月31日).
- 17) 菊谷 武: 訪問診療における食支援 (摂食嚥下機能療法), 歯科技工士人材確保対策事業研修プログラム, オンライン (2021年9月1日).
- 18) 菊谷 武: 口腔リハビリの実際~何を観て、何をするのか~, 品川福祉カレッジ 口腔機能向上・ケア講座, オンライン (2021年9月21日).
- 19) 菊谷 武: 歯科と認知症一外来診療、訪問診療で出会う認知症の人と家族, 東京都歯科医師認知症対応力向上研修, オンライン (2021年9月28日).
- 20) 菊谷 武: 口腔機能低下症, 東京都八南歯科医師会 会員向け講演会, オンライン (2021年9月30日).
- 21) 山田 幸: 日常診療での口腔外科、多摩クリニックでの口腔外科, 令和3年度東京都武蔵野市歯科医会・東京都日本歯科大学武蔵野支部共催学術講演会, 東京 (2021年10月1日).
- 22) 菊谷 武: 歯科と認知症一外来診療、訪問診療で出会う認知症の人と家族, 横浜市歯科医師認知症対応力向上研修, 神奈川 (2021年10月3日).
- 23) 水上美樹: 小児歯科における歯科衛生士の役割一小児の口腔機能発達不全症一, 復職支援・離職防止研修会応用コース, 東京 (2021年10月7日).
- 24) 菊谷 武: リハビリテーション 摂食嚥下機能支援, 第4期 東京在宅医療塾, 東京 (2021年10月9日).
- 25) 菊谷 武: 口腔ケア・嚥下について, 葛飾区医療福祉関係栄養士研修会, オンライン (2021年10月21日).
- 26) 田村文誉: 障害児の摂食について, 東京都荒川歯科医師会学術講演会, 東京都荒川歯科医師会会館 (2021年10月22日).
- 27) 市川陽子: 口の機能とオーラルフレイル, 自由学園最高学部1年 生涯発達論F, 東京 (2021年10月28日).
- 28) 菊谷 武: 高齢者の栄養管理について, 臨床栄養ケアマネジメント論、臨床栄養ケアマネジメント実習の特別授業, 東京 (2021年10月29日).
- 29) 菊谷 武: 歯科と認知症一外来診療、訪問診療で出会う認知症の人と家族, 高齢者の「食べる」を支援する, 埼玉 (2021年11月4日).

- 30) 戸原 雄: 高齢者の口腔機能を診る, 町田市歯科医師会摂食嚥下講演会, 東京 (2021年11月4日).
- 31) 市川陽子: 歯科が行う”食べる”を支える, 自由学園最高学部1年 生涯発達論F, 東京 (2021年11月4日).
- 32) 菊谷 武: 命をまもる口腔ケア (回復期看護), 回復期リハビリテーション看護師認定コース, オンライン (2021年11月5日).
- 33) 菊谷 武: くちはどう古い 歯科衛生士はどう立ち向かうのか?, 歯科衛生士応援セミナー, オンライン (2021年11月7日).
- 34) 水上美樹: 口腔機能発達不全症に対する指導・管理一食べる・話すの問題の早期発見、早期対応一, 第14回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座, オンライン (2021年11月7日).
- 35) 菊谷 武: 口はどう古い、私達はどう支えるのか, 第5回セコムグループ提携病院多職種連携呼吸器研究会, 東京 (2021年11月13日).
- 36) 菊谷 武: 地域包括新時代 歯科医院はどう変わるか, 茨城県保険医協会 在宅医療・介護に関する研修会, 茨城 (2021年11月14日).
- 37) 田村文誉: 乳児期の食機能の発達段階と食事支援 誤嚥・窒息を防ぐ食事の提供方法, 武蔵野市子ども家庭部子ども育成課主催 栄養士課題別研修, オンライン (2021年11月15日).
- 38) 菊谷 武: 食べるを支える一摂食機能と嚥下調整食の選択一, キッセイヘルスケア事業部 WEBセミナー, オンライン (2021年11月18日).
- 39) 田村文誉: 認知機能低下への歯科からの支援, 令和3年度歯科医療従事者認知症対応力向上研修セミナー, オンライン (2021年11月20日).
- 40) 田村文誉: 小児の口腔機能発達不全症の診かた, 東京都女性歯科医師の会 令和3年度 秋の学術講演会, オンライン (2021年11月28日).
- 41) 田村文誉: 摂食嚥下障害援助論V, 令和3年度摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程, オンライン (2021年12月2日).
- 42) 菊谷 武: 高齢者の栄養管理について, 第25回八女筑後栄養療法勉強会 特別講演会, オンライン (2021年12月3日).
- 43) 菊谷 武: オーラルフレイルと口腔機能低下症に歯科はどうかかわるのか?, 関西オーラルマネジメント研究会10周年記念講演会, オンライン (2021年12月5日).
- 44) 田村文誉: 授乳・離乳支援ガイド改訂内容と小児の摂食機能発達支援について, 令和3年度歯科口腔保健に係る研修会 摂食機能発達支援研修会, オンライン (2021年12月6日).
- 45) 田村文誉: 子どもの口腔機能を育もう!, 令和3年度歯科口腔保健に係る研修会 オーラルフレイル健口推進員育成研修会, オンライン (2021年12月6日).
- 46) 菊谷 武: 食べることに問題のある患者にしかは何かできるのか, 日本口腔インプラント学会認定講習会, 東京 (2021年12月12日).
- 47) 戸原 雄: これでわかるミールラウンド, 青森県歯科衛生士会第3回生涯研修, オンライン (2021年12月12日).
- 48) 田村文誉: 認知機能低下への歯科からの支援, 令和3年度歯科医療従事者認知症対応力向上研修セミナー, 旭川歯科医師会 (2021年12月18日).
- 49) 菊谷 武: コロナ禍を踏まえ、いま改めて食べるを考える～ケアマネジャーが現場で行う食事観察と地域連携～, 東京都多摩立川保健所摂食嚥下機能支援研修会, オンライン (2022年1月20日).
- 50) 菊谷 武: オーラルフレイルって知ってますか?～元気のもとは、お口から～, 小笠掛川歯科医師会オーラルフレイル予防研修会, オンライン (2022年1月22日).
- 51) 田村文誉: 認知機能低下への歯科からの支援, 令和3年度歯科医療従事者認知症対応力向上研修セミナー, オンライン (2022年1月22日).
- 52) 菊谷 武: 在宅における食支援, 京都在宅医療塾～食支援～, オンライン (2022年1月30日).
- 53) 田村文誉: 認知機能低下への歯科からの支援, 令和3年度歯科医療従事者認知症対応力向上研修セミナー, オンライン (2022年1月30日).
- 54) 菊谷 武: オーラルフレイルって知ってますか, 区中央部糖尿病医療連携検討会, オンライン (2022年2月5日).
- 55) 田村文誉: 摂食嚥下機能を理解し“子どもの食べ方”を理解しよう ☐～食べ方相談から見えてきたもの～, 調布市母子保健事業者研修会, オンライン (2022年2月7日).

- 56) 田村文誉：認知機能低下への歯科からの支援，令和3年度歯科医療従事者認知症対応力向上研修セミナー，オンライン（2022年2月19日）。
- 57) 菊谷 武：事例から学ぶ！食べる機能支援～いつまでも安全においしく食べるために～，府中市摂食・嚥下機能支援研修会，オンライン（2022年3月3日）。
- 58) 菊谷 武：歯科と栄養，在宅医療プロフェッショナル歯科医師等養成研修・在宅歯科医療フォローアップ研修，オンライン（2022年3月6日）。
- 59) 田村文誉：認知機能低下への歯科からの支援，令和3年度歯科医療従事者認知症対応力向上研修セミナー，オンライン（2022年3月6日）。
- 60) 菊谷 武：口はどう古い、歯科衛生士はどう対応するのか？一口の老いにどう挑み、どのように受け入れるのか？，歯科衛生士生涯研修会，オンライン（2022年3月13日）。
- 61) 菊谷 武：オーラルフレイルと口腔機能低下症に歯科はどうかかわるのか？一品川区後期高齢者歯科検診で見えてきたもの一，第1回公衆衛生研修会，東京（2022年3月18日）。
- 62) 高島良代：ことばの発達と構音機能について，令和3年度滋賀県栄養士会生涯教育研修会，オンライン（2021年8月1日～2021年8月31日）。
- 63) 田村文誉：口腔ケア、摂食・嚥下について，社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会 令和3年度訪問看護師等育成研修（レベルアップ編），オンライン（2021年9月1日～9月30日）。
- 64) 水上美樹：問題解決過程の実践、摂食嚥下訓練，令和3年度認定歯科衛生士セミナー，オンライン（2021年9月4日～10月3日）。
- 65) 田中 祐子：摂食嚥下訓練，令和3年度認定歯科衛生士セミナー，東京（2021年9月4日～2021年10月3日）。
- 66) 田中 祐子：問題解決過程の実践，令和4年度認定歯科衛生士セミナー，東京（2021年9月4日～2021年10月3日）。
- 67) 菊谷 武：在宅歯科医療における摂食嚥下について，熊本県歯科医師会 在宅歯科医療研修会，オンライン（2022年1月21日，2月4日）。
- 68) 菊谷 武：病態別摂食嚥下障害，令和3年度認定歯科衛生士セミナー講演，オンライン（2021年9月4日～10月3日）。
- 69) 菊谷 武：摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解，令和3年度認定歯科衛生士セミナー講演，オンライン（2021年9月4日～10月4日）。

## H. その他の出版物

記載事項なし

1. 所属名、所属構成員等

所属名	英語名
口腔リハビリテーション	Tama Oral Rehabilitation

担当者名	担当者メール	内線番号
加藤陽子	y.kato@tky.ndu.ac.jp	

(←リストから講座名を選択すると英文名は自動入力されます)

※ 併任の場合は、氏名の後に(併任)と記載する。

※ 診療科は、氏名の後ろに(科長)、(医長)を併記する。

※ 今年度の途中で構成員の異動があった場合は、氏名の後に(在任期間)を併記する。

※ 1文字の名字や1文字名前は各々、名字と名前の間に全角スペースを一つ空ける。

※ 20名以上の場合には、20番目のセルにまとめて記入する。氏名間は「全角カンマ(、)」で区切る。

所属構成員等	1	2	3	4	5
学長					
教授	菊谷 武(院長)	田村文誉(科長)			
准教授					
講師	児玉実穂(医長)	高橋賢晃	町田麗子	戸原 雄(多摩医長)	山田裕之
助教	関妃美子	磯田友子	小川賀子	元開早絵	古屋裕康
臨床研究生					
非常勤歯科医師	柴崎育美	市川陽子			
客員教授					
客員准教授					
客員講師					
臨床教授	松本宜明	米山武義	Michael E. Groher	大井裕子	
臨床准教授	花形哲夫	吉田光由	五島朋幸	今井庸子	
臨床講師	森 寛子	田代晴基	鈴木 亮	佐々木由香	西方浩一
非常勤講師					
医療職員	水上美樹(歯科衛生士)	西澤加代子(歯科衛生士)	田中祐子(歯科衛生士)	有友たかね(歯科衛生士)	作田妙子(歯科衛生士)
技術職員					
事務職員	中山和治	町田保子	前川 岳		
大学院生	加藤陽子				
聴講生					

2. 研究テーマ

※研究テーマを英文併記で記載する。

※日本語文は、ピリオドなし。英語文は、文末に「半角ピリオド(.)」を付す。

日本語文	英語文
1 摂食嚥下リハビリテーション	Dysphagia rehabilitation.
2 高齢者に対する歯科診療	Dental treatment for older adults.
3 歯科訪問診療	Home Visiting Dental Care.
4 摂食嚥下障害者の咀嚼運動	Masticatory movement in older patients with eating difficulties.
5 コミュニケーション障害患者のリハビリテーション	Speech and language therapy in communication disorders.
6 高次脳機能障害患者の社会復帰支援	Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
7 誤嚥性肺炎と口腔ケア	Aspiration pneumonia and oral health care.
8 障害児の摂食機能	Feeding function of disabled children.
9 小児の摂食機能の発達と障害	Development and disabilities of feeding in children.
10 子供の食の問題と母親の育児負担との関係	Relationship between children's eating problem and mother's parenting burden.
11 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成プログラムの構築	Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.
12 Withコロナ時代におけるVRを用いた新たな教育システムの構築	Constructing a new education system using VR in the Covid-19 era.
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

3 今年度の研究上の特筆すべき事項

※学会賞や特許(出願、取得)等を記載する。記載事項のない場合は空欄のままにする。

※受賞者と発明者は連名の場合「カンマ」で区切る。

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等については記載要領を参照のこと。

受賞	賞の名称	受賞者	年(西暦)	月	日	受賞論文等の題名
1	日本老年歯科医学会第32回 学術大会優秀課題口演賞	宮下大志	2021	6	12	嚥下障害患者における嚥下造影検査で観察される嚥下動態とサルコペニアとの関連性
2	第38回日本障害者歯科学会 学術大会優秀発表賞	田中祐子	2021	10	11	摂食嚥下外来に訪れた低出生体重児の寒感
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

特許	出願人	発明者	年(西暦)	月	日	特許または出願番号	発明の名称
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

その他(業務に関係のある資格取得等を含む)

※この項目は自動変換されないため、内容はすべて一つのセルに入力する。

※氏名の後に「半角コロン」を付し「半角スペース」を入れる。その後は「カンマ」で区切る。

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等については記載要領を参照のこと。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

4. 学位取得者

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等については記載要領を参照のこと。

	取得者氏名	学位論文の表題(和文)	学位論文の表題(英文)	取得年月日			授与機関名	取得学位
				年(西暦)	月	日		
1	加藤陽子	健康高齢女性の咀嚼運動と口腔および身	Association between masticatory moveme	2022	1	7	日本歯科大学	博士(歯学)
2								
3								
4								
5								



5. 主催学会等 (学内発表会、大学院講義、ゼミ等は記載しない)

※主催者が複数で所属講座以外の人が含まれる場合は、その人の所属をカッコ内に付記する。

	主催学会等の名称	開催地 (東京以外は○ ○市や○○町)	開催年月日 (例: 2019年4月2~3日)	主催者(大会等の役職: 氏名)
1	「食べるを支える」口腔機能発達不全症研修会	オンライン	2021年4月24日	講師: 田村文誉, 山田裕之, 水上美樹
2	「食べるを支える」口腔機能発達不全症研修会	オンライン	2021年5月27日	講師: 田村文誉
3	「食べるを支える」口腔機能発達不全症研修会	オンライン	2021年6月17日	講師: 田村文誉, 高島良代, 尾関麻衣子
4	育児中のお母さんお父さんのための子どもの食べるを支える研修会	小金井市	2021年8月24日	講師: 磯田友子
5	赤ちゃんが自分で食べるということ	オンライン	2021年11月19日, 12月17日	講師: 田村文誉, 西方浩一(文京学院大学保健医療技術学部 作業療法学科)
6	摂食嚥下超入門ふたたび	オンライン	2021年11月25日, 12月9日	講師: 菊谷 武
7	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック研修会	オンライン	2022年2月12日	講師: 菊谷 武, 高橋賢晃
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

6. 国際交流状況

- ※400字以内で簡潔に記載する.
- ※カンマは「全角カンマ(,)」とする.

1	多摩クリニックおよび飯田橋の口腔リハビリテーション科のメンバーは、Redlands大学前教授兼口腔リハビリテーション科の臨床教授である
2	
3	
4	
5	
6	
7	

8-A 著書(単著, 共著, 分担執筆, supplement(学会誌別冊号), ビデオ, CD-ROM, DVD等を記載する)

※原則的にISBNコードが付与されているものに限る。

※著者名(共著あるいは分担等の区別): 分担執筆の場合は分担部分の項目または表題, 執筆頁, 編者・監修者を記載する。

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り, 英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他, 日本語文と英語文, あるいは英数字等については記載要領を参照のこと。

※講座または診療科等が編纂した実習書・講義副読本等は記載しない。

※ビデオ動画も記載できるが, 制作会社, 販売元, 発売年を明記できるものに限る。

※ビデオ動画にISBNコードがついている場合は, そのコードを付記する。

分担の場合 B列の「分担番号」も記入し, 先頭列の番号を同一にする

複数分担の場合 同一番号に直し 以降の番号も変更	分担 の番号	著者名	単著・共著・ 分担執筆等 の区別	編集・監修 の区分	書名	版	出版元	出版地	出版年 (西暦)	ISBNコード	分担執筆部分の表題名	著書の編者・監修者名	開始頁	終了頁
	1	水上美樹	分担執筆		子どもの食べる機能の 障害とハビリテーション	1 版	医歯薬出版株式 会社	東京	2021	978-4-263-44637-9	Part2 代表的な原疾患、 障害児の摂食機能の発 達と粗大運動・微細運動 の獲得との関係	金子芳洋, Michael E.Groher, 田村文誉	38, 51	44, 54
	2	水上美樹	分担執筆	編集	ダウン症の子どもの摂食 嚥下ハビリテーション	1 版	医歯薬出版株式 会社	東京	2021	978-4-263-44639-3	ダウン症候群児の特徴を ふまえた摂食嚥下機能評 価と摂食嚥下指導の進め 方のヒント, 摂食機能訓 練1 間接訓練, 摂食機 能訓練2 直接訓練	田村文誉, 水上美樹	73, 95, 107	76, 106, 115
	3	水上美樹	分担執筆		歯科予防処置論・歯科 保健指導論	2 版	医歯薬出版株式 会社	東京	2022	978-4-263-42863-4	口腔の機能	一般社団法人全国歯 科衛生士教育協議会	22	27
	4	水上美樹	共著	編集	小児歯科	2 版	医歯薬出版株式 会社	東京	2021	978-4-263-42865-8		最新歯科衛生士教本 編集委員会		
	5	水上美樹	分担執筆		老年歯科医学	2 版	医歯薬出版株式 会社	東京	2022	978-4-45870-9	嚥下食と栄養	森戸光彦	330	332
	6	尾関麻衣子	分担執筆		訪問栄養食事指導実践 テキストブック	1 版	株式会社メディ ア・ケアプラス	東京	2021	978-4-908399-11-4	第1章第6節 在宅高齢者 の栄養的現状、医療的ケ ア児の増加	田中弥生, 一般社団法 人日本在宅栄養管理 学会	23	25

7. 外部・学内研究費

※複数年に及ぶ場合は、年度毎の記述となる。

※研究分担者名は連名の場合「全角カンマ(,)」で区切る。

※単年度の場合は、「該当年度のみ取得額」の枠に金額を記載する。

↓金額は、数字のみ入力(記号やカンマ等はいれない)

研究費の名称(委託研究依頼会社名)	種類(基盤、若手など)	新規・継続	研究期間(西暦)	研究課題名	研究代表者名	研究分担者名	1課題あたりの総取得額 (直接・間接経費の合)	該当年度のみ取得額 (直接・間接経費の合算)	該当年度のみ取得額	該当年度のみ取得額		
1 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団助成		継続	2021～2022年度	歯科衛生士の医療的ケア児(在宅)に対する訪問歯科診療の実態調査	水上美樹	田村文誉, 田中祐子, 吉本美枝, 鈴木厚子, 田中 恵, 小坂美樹	1,250,000	円	2021	年度	#####	円
2 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(C)	継続	2018～2021年度	高度医療受給している小児在宅患者に対する遠隔診療を導入した口腔管理システムの構築	町田麗子	菊谷 武, 田村文誉	4,420,000	円	2021	年度	390,000	円
3 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	若手研究	継続	2020～2023年度	在宅歯科医療推進に関する科学的根拠構築のための研究	田中公美(五十嵐公美)		4,160,000	円	2021	年度	520,000	円
4 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(B)	継続	2018～2020年度(期間延長)	機械学習を用いた嚥下造影検査診断補助システムの開発	菊谷 武	川口孝泰, 井出吉昭	5,330,000	円	2021	年度	#####	円
5 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(C)	新規	2021～2023	人生の最終段階に向かう高齢患者に対する歯科診療指針の作成	菊谷 武	高橋賢晃, 白野美和	4,030,000	円	2021	年度	#####	円
6 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(C)	継続	2018～2020年度(期間延長)	嚥下障害患者の食行動モニタリングによる誤嚥性肺炎の予測	大石朋子	菊谷 武	4,290,000	円	2021	年度	100,000	円
7 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(C)	継続	2020～2022	人工知能による深層学習を応用した運動障害性咀嚼障害の多軸診断支援システムの開発	大野 彩	菊谷 武	4,420,000	円	2021	年度	50,000	円
8 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(C)	新規	2021～2023	経皮的電気刺激による抵抗源を利用した新たな舌訓練法についての研究	高橋賢晃	戸原 雄	3,380,000	円	2021	年度	#####	円
9 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	若手研究	新規	2021～2023	サルコペニアによる嚥下障害に対する全身へのレジスタンス訓練効果の検証	仲澤裕次郎		4,290,000	円	2021	年度	#####	円
10 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	若手研究	新規	2021～2023	Withコロナ時代におけるVRを用いた新たな教育システムの構築	戸原 雄		4,160,000	円	2021	年度	#####	円
11 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	若手研究	新規	2021～2023	Withコロナ時代におけるVRを用いた新たな教育システムの構築	戸原 雄		4,160,000	円	2021	年度	#####	円
12 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(C)	継続	2019～2021	ダウン症児の吃症状における関連要因の分析とその対処法の確立	新藤久美		3,900,000	円	2021	年度		円
13 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	若手研究	継続	2019～2021	サルコペニアによる摂食嚥下障害の新たな診断方法開発とリハビリテーション効果の検証	横田悠里		4,290,000	円	2021	年度		円
14 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(C)	新規	2021～2023	小児の偏食改善を目的とした多職種連携型口腔機能改善アプローチへの新たな開発	田村文誉	菊谷 武, 水上美樹, 川嶋 舟, 高橋 智, 田部絢子	4,030,000	円	2021	年度	260,000	円
15 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(C)	継続	2018～2021	小児期における口腔機能発達評価指針作成のための調査研究	木本茂成	浅里 仁, 藤田茉衣子, 田村文誉	4,160,000	円	2021	年度	100,000	円
16 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	基盤研究(C)	継続	2019～2021	発達障害等の子どもの食の困難と子ども・家族包括型発達支援システムの開発	田部絢子	高橋 智, 田村文誉	4,290,000	円	2021	年度	100,000	円
17								円		年度		円
18								円		年度		円
19								円		年度		円
20								円		年度		円
21								円		年度		円
22								円		年度		円
23								円		年度		円
24								円		年度		円
25								円		年度		円

※科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金): 基盤研究(C), 挑戦的研究(萌芽), 挑戦的萌芽研究, 若手研究, 若手研究(B), 研究活動スタート支援

※科学研究費助成事業(科学研究費補助金): 基盤研究(A), 基盤研究(B), 挑戦的研究(開拓), 若手研究(A)

※科学研究費の正式名称については各自で確認する。

8-B 原著

- ※Master Journal List掲載誌は☆、MEDLINE掲載誌は◎、それ以外で査読制度がある場合は○を付す。
- ※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等については記載要領を参照のこと。
- ※オンラインジャーナルは◇を付し、DOIの後に(「半角カンマ( )」と「半角空け」)、URLと入手年月日を記入する。入手年月日の前には「参照」を付す。
- ※Corresponding Authorは氏名の前にアスタリスク(\*)を付す。
- ※学会大会の抄録、Proceedingおよび学会大会における報告(臨床・症例等)は、「8-F 学会大会発表」シートに記載する。
- ※商業誌は「8-D 報告・紀要」シートに記載する。
- ※雑誌名はPubMedや医中誌に認められている短縮名のみを記載し、英語表記の雑誌名は略した部分にピリオドを付記する。
- ※著者が6名を超える場合は、最初の6名の氏名並びに7番目以降の該当所属員著者氏名(その順位)を記載し、著者名の末尾に全著者数を付す。

著者名1	著者名2	著者名3	著者名4	著者名5	著者名6	著者名	順位	著者名	順位	著者名	順位	著者名	順位	著者名	順位	全著者数	表題名	国際誌・査読の分類	オンラインジャーナル	雑誌名	発行年	巻(号)	開始頁	終了頁	DOI	学位論文	
1	Kato Y	Kikutani T	Tohara T	Takahashi N	Tamura F												5	Masticatory movements and food textures in older patients with eating difficulties	☆◎		Gerontology	2022	39(1)	90	97	10.1111/ger.12596	
2	Im I	Carnaby GD	Takahashi N	Dungan S	Crory MA													Clinical Swallowing Profile Change in HNC Patients Treated with C/RT	☆◎		Laryngoscope	2021	131	1873	1880	10.1002/lary.29266	
3	Kikutani T	Ichikawa Y	Kitazume E	Mizukoshi A	Tohara T	Takahashi N											10	COVID-19 Infection-Related Weight Loss Decreases Eating/Swallowing Function in Schizophrenic Patients		◇	Nutrients	2021	13(4)	113		10.3390/nu13041113	
4	Yanagida R	Hara K	Iida T	Tohara T	Tamada Y	Minakuchi S											9	Jaw-Opening Force as a Useful Index for Dysphagia: A Cross-Sectional and Multi-Institutional Study	☆◎		Gerontology	2022	24	1	8	10.1159/000521392	
5	Hama K	Iwasa Y	Ohara Y	Iwasaki M	Ito K	Nakajima J	Tohara T	8									17	Pneumonia incidence and oral health management by dental hygienists in long-term care facilities: A 1-year prospective multicentre cohort study	☆◎		Gerodontology	2021		1	10	10.1111/ger.12604	
6	Nagashima K	Kikutani T	Takahashi N	Kato Y	Sagawa K	Tohara T	Tamura F	7									7	Development of the Sakiika Transport Test: A Practical Screening Method for Patients with Oral-phase Dysphagia	☆◎		J Prosthodont Res.	2021				10.2186/jpr.JPR_D_20_00290	
7	Kato Y	Kikutani T	Sagawa K	Tamura F													4	Association between masticatory movement and oral and physical function in healthy older women	☆◎		J Prosthodont Res.	2021				10.2186/jpr.JPR_D_20_00285	学位論文

8-C 総説・解説(学術誌、学会誌に掲載されたもののみとする)

※Master Journal List掲載誌は☆、MEDLINE掲載誌は◎、それ以外で査読制度がある場合は○を付す。

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等については記載要領を参照のこと。

※オンラインジャーナルは○を付し、DOIの後に(「半角カンマ(.)」と「半角空け」)、URLと入手年月日を記入する。入手年月日の前には「参照」を付す。

※Corresponding Authorは氏名の前にアスタリスク(\*)を付す。

※商業誌の総説・解説は「8-D 報告・紀要」シートに記載する。

※雑誌名はPubMedや医中誌に認められている短縮名のみを記載し、英語表記の雑誌名は略した部分にピリオドを付記する。

※著者が6名を超える場合は、最初の6名の氏名並びに7番目以降の該当所属員著者氏名(その順位)を記載し、著者名の末尾に全著者数を付す。

	著者名1	著者名2	著者名3	著者名4	著者名5	著者名6	著者名	順位	著者名	順位	著者名	順位	著者名	順位	著者名	順位	全著者数	表題名	国際誌・査読の分類	オンラインジャーナル	雑誌名	発行年	巻(号)	開始頁	終了頁
1	田村文誉	加藤 篤	石黒 光	江草正彦	尾崎由衛	玄 景華												日本障害者歯科学会会員における触覚過敏の脱感作法の臨床と教育について	○		障歯誌	2021	42(2)	73	83
2	高井理人	田村文誉	菊谷 武	小方清和	大島昇平	八若保孝												小児在宅歯科医療に関する全国調査	○		障歯誌	2021	42(2)	91	98
3	駒形悠佳	山田裕之	田村文誉	保母妃美子	礪田友子	田中祐子												摂食嚥下専門外来において口腔機能発達不全症と診断された患者の実態調査	○		障歯誌	2021	42(2)	196	202
4	古屋裕康	菊谷 武	田中公美	仲澤裕次郎	保母妃美子	礪田友子	山田裕之	7	戸原雄	8	高橋賢晃	9	田村文誉	10			10	新型コロナウイルス感染症流行下におけるオンライン診療に対する摂食嚥下障害患者の意識調査	○		障歯誌	2021	42(2)	210	214
5	弘中祥司	田村文誉	村上旬平	内海明美	江草正彦	遠藤真美												日本障害者歯科学会診療ガイドライン作成委員会報告 COVID-19感染拡大下あるいはそれに近似した状況下における小児在宅歯科医療に関するアンケート	○		障歯誌	2021	42(2)	99	109

8-D 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

※Master Journal List掲載誌は☆、MEDLINE掲載誌は◎、それ以外で査読制度がある場合は○を付す。

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等については記載要領を参照のこと。

※オンラインジャーナルは○を付し、DOIの後に(「半角カンマ(.)」と「半角空け」)、URLと入手年月日を記入する。入手年月日の前には「参照」を付す。

※Corresponding Authorは氏名の前にアスタリスク(\*)を付す。

※雑誌名はPubMedや医中誌に認められている短縮名のみを記載し、英語表記の雑誌名で略した部分にはギリシードを付記する。

※学会大会の抄録、Proceedingおよび学会大会における報告(臨床・症例等)は、「8-F 学会大会発表」シートに記載する。

※テレビ出演や監修の場合は、出演者名(もしくは監修者名)を著者名の欄に、番組名(放送日)を表題名の欄に、放送局名を雑誌名の欄に記入する。

※Webサイト中の記事の場合は、記載例2に倣って、表題名の欄に「Webページの題名」、Webサイトの名称を入れ、雑誌名の欄にURLと入手年月日を記入する。

日付の前には「参照」を付す。

※著者が6名を超える場合は、最初の6名の氏名並びに7番目以降の該当所属員著者氏名(その順位)を記載し、著者名の末尾に全著者数を付す。

	著者名1	著者名2	著者名3	著者名4	著者名5	著者名6	著者名	順位	著者名	順位	著者名	順位	著者名	順位	著者名	順位	全著者数	表題名	国際誌・査読の分類	オンラインジャーナル	雑誌名	発行年	巻(号)	開始頁	終了頁
1	菊谷 武																	多職種がそろった老健施設が地域の摂食嚥下リハビリの引き上げを			老健	2021	32(9)	14	16
2	田村文誉																	トピックス 口腔機能の発達について①「食べることにかかわること」			保育と保健ニュース	2021	93	3	
3	田村文誉																	口腔機能の発達について②「摂食機能発達のマイルストーン」			保育と保健ニュース	2021	94	3	
4	田村文誉																	口腔機能の発達について③「口腔機能発達不全症と摂食嚥下障害」			保育と保健ニュース	2021	95	3	
5	田村文誉																	食べることへの支援			発達教育	2021	5	4	11
6	児玉実穂	鈴木麻美																開業医のための マタニティ歯科外来入門 マイナス1歳からの口腔ケア 12.連載のまとめー母子健康手帳、低体重児出産、妊婦歯科健診、Babyアプリ			日本歯科評論	2021	81(6)	168	169
7	高橋賢晃																	訪問歯科診療のはじめの一步			日本歯科大学校友会・歯学会会報	2021	46	2	5
8	菊谷 武																	摂食嚥下障害における歯科医師の役割			日医工株式会社				

8-E 翻訳

※抄訳(論文紹介等)は、「8-D 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要」に記載する。

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等については記載要領を参照の  
共訳の場合

	原著者名	翻訳者名	翻訳書名	版	出版元	出版地	出版年	共訳部分の表題名	監訳者名	開始頁	終了頁
1											
2											
3											
4											



8-F 学術大会発表(学術雑誌掲載抄録、Proceeding有り): 商業誌は除く

※学会の集談会、分科会、部会、地方会等の発表は、「8-G 講演」シートの(2)に記載する。

※学術大会抄録について、電子媒体と冊子の両方に公開されている場合は、両方記載する。

※Webサイト上で閲覧可能な場合はURLと入手年月日を記入する。入手年月日の前には「参照」を付す。

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等に

	発表者名	表題名	雑誌名	発行年 (西暦)	巻(号)	頁	URL
1	尾関麻衣子, 福井智子, 加藤真莉, 戸原雄, 飯島裕之	歯科衛生士による訪問指導で栄養状態の回復に寄与した症例	老年歯学	2021	36(2)	168-169	
2	柳田陵介, 原 豪志, 中川量晴, 並木千鶴, 飯田貴俊, 戸原雄, 玉田泰嗣, 水口俊介, 山口浩平, 吉見佳那子, 中根綾子, 戸原 玄	開口力は嚥下機能低下の指標として有効である 多施設共同研究の結果より	老年歯学	2021	36(2)	111-112	
3	仲澤 裕次郎, 田中公美, 横田悠里, 佐川敬一朗, 古屋裕康, 礪田友子, 保母妃美子, 山田裕之, 戸原雄, 田村文誉, 菊谷武	VR画像を用いた歯学部学生における臨床実習の効果について	老年歯学	2021	36(2)	167	
4	古屋裕康, 田村文誉, 田中公美, 仲澤裕次郎, 保母妃美子, 礪田友子, 田中祐子, 山田裕之, 町田麗子, 戸原 雄, 菊谷武	新型コロナウイルス感染症流行下におけるオンライン診療に対する意識調査	老年歯学	2021	36(2)	135	
5	宮下大志, 菊谷 武, 永島圭悟, 五十嵐公美, 田村文誉	嚥下障害患者における嚥下造影検査で観察される嚥下動態とサルコペニアとの関連性	老年歯学	2021	36(2)	112	
6	富田浩子, 田中祐子, 有友たかね, 田中公美, 佐藤志穂, 佐々木力丸, 菊谷武, 大井裕子	看取り期における在宅がん患者に対する地域連携による口腔健康管理	老年歯学	2021	36(2)	107-108	
7	礪田友子	家族による虐待を疑われた在宅要介護高齢患者に対する多職種連携による誤嚥性肺炎の予防の取り組み	老年歯学	2021	36(2)	41	
8	田中祐子, 作田妙子, 田村文誉, 水上美樹, 西澤加代子, 山田裕之, 保母妃美子, 礪田友子, 菊谷武	摂食嚥下外来に訪れた低出生体重児の実態	日本歯科医師会雑誌	2021	74(4)	165	

8-G 講演

※学術大会の一般口演・ポスター発表は、「8-F 学術大会発表」シートに記載する。

(1) 特別講演・シンポジウム等々の講演(国際学会・国内学会・海外からの招待講演)

※国内外の学会等からの依頼講演(招待講演)である特別講演・シンポジウムまたはそれに類するもの(教育講演等)で、筆頭演者に限る。

※国内の歯科関係の学会の場合、日本歯科医学会およびその専門・認定分科会を対象とする

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」全角空白」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」半角空白」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等に

発表者名	演題名	学術大会・学会等の名称	講演等の種類	開催地	年月日(西暦)
1 田村文登	シンポジウム1 口腔機能発達不全症の基礎と臨床 子どもの口腔機能の診かた	第59回日本小児歯科学会大会	シンポジウム	オンライン	2021年6月6日 ～6月20日
2 菊谷 武	在宅患者に対する口腔リハビリテーション診療	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会	シンポジウム	オンライン	2021年6月10日 ～13日
3 菊谷 武	認知症の発症や予後に影響を及ぼす栄養・食事について考える	第32回日本老年医学会	シンポジウム	オンライン	2021年6月11日
4 菊谷 武	口腔リハビリテーション多摩クリニックにおけるIoT・AIや遠隔機器を活用した医療・保健活動 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックが実践するICTを用いた教育および診療への応用について	第32回日本老年歯科医学会学術大会	シンポジウム	オンライン	2021年6月12日
5 菊谷 武	大学の立場から、歯科訪問診療の実態と課題	第32回日本老年歯科医学会	シンポジウム	オンライン	2021年6月12日
6 菊谷 武	口腔内環境を見える化する一掃菌カウンタの臨床応用のすすめ	第32回日本老年歯科医学会	スポンサーセッション	オンライン	2021年6月12日
7 菊谷 武	ウイズ・コロナにおける新しい在宅歯科医療のあり方	第33回日本老年歯科医学会学術大会	シンポジウム	オンライン	2021年6月13日
8 田村文登	シンポジウム1 沖繩の子どもたちへむく歯減少の先に見えてくるもの 乳幼児の歯や口の機能の発達とその支援について	第68回日本小児保健協会学術集会	シンポジウム	オンライン	2021年6月16日 ～6月20日
9 菊谷 武	「介護報酬の改定による介護保険施設からの在宅訪問栄養指導と連携」歯科医療の立場から	日本在宅栄養管理学会 合同ブロック大会	シンポジウム	オンライン	2021年7月24日
10 高橋寛晃	摂食嚥下リハビリテーションのコツを知る!	第26・27回 合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会	プレコングレスセミナー	愛知(名古屋)	2021年8月19日
11 菊谷 武	食べるとつながるオーラルマインド	第26・27回 合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会	シンポジウム	名古屋国際会議場	2021年8月21日
12 田村文登	小児行動調整	第26・27回合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会	教育講演	オンライン	2021年8月21日
13 Tamura F	The Japanese Approach to Pediatric Dysphagia Rehabilitation	World Dysphagia Summit2021	シンポジウム	Online	2021年8月21日
14 古屋裕康	嚥下障害症例へのオンライン診療の効果と展望	第26・27回 合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会	シンポジウム	オンライン	2021年8月21日
15 菊谷 武	とろみ自動調理器 導入のポイント	第26・27回 合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会	ランチョンセミナー	名古屋国際会議場	2021年8月22日
16 菊谷 武	「食べるとつながる」機能の障害と口腔リハビリテーション その仕組と展望	第24回 日本歯科医学会学術大会	シンポジウム	オンライン	2021年9月23日
17 尾関麻衣子	歯科と栄養が出会うとき～フレイル予防のための食事指導～	第41回日本歯科薬物療法学会学術大会	シンポジウム	神奈川	2021年9月25日
18 古屋裕康	オンライン診療と摂食嚥下リハビリテーション	第7回 歯学会オンラインミーティング	シンポジウム	オンライン	2021年12月11日
19 菊谷 武	口腔と全身の関連を考える	ジャパンオーラルヘルス学会第23回学術大会	シンポジウム	オンライン	2021年12月6日 ～19日
20 田村文登	臨床医として感じる現状と課題	日本学術会議歯学委員会・歯系歯学分科会主催 公開講演会 歯学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ＝課題と展望について～	シンポジウム	オンライン	2022年1月13日
21 菊谷 武	在宅医療から見たインプラント治療	日本口腔インプラント学会 第41回 近畿・北陸支部学術大会	シンポジウム	大阪歯科大学(天満橋キャンパス)	2022年2月11日 ～12日
22 田村文登	小児の摂食嚥下機能の発達と障害	北海道医療大学生産学習「北海道医療大学同窓会 コラボ☆講演会	講演	オンライン	2022年3月5日
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

(2) 講演会、研究会・研修会等での講演

※講演会、研究会・研修会等での講演と発表のほか、学会の集談会、分科会、部会、地方会等の発表を記載する。

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」全角空白」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」半角空白」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等に

発表者名	演題名	講演会等の名称	開催地	年月日(西暦)
1 田村文登	食べるとつながる機能の育て方	JDS(日本ダウン症協会)乳幼児期オンライン勉強会	オンライン	2021年4月21日
2 田村文登	食べるとつながる機能の発達とその支援	北海道子供の歯を守る会主催 道民公開講座	オンライン	2021年4月24日
3 田村文登	子どもの口腔機能と摂食嚥下機能	東京情報大学学生講義	オンライン	2021年5月7日
4 田村文登	子どもの発達を理解した支援と多職種連携	東京情報大学学生講義	オンライン	2021年5月7日
5 田村文登	特別支援学校の子供たちの摂食嚥下機能について	都立特別支援学校の学校給食摂取率改訂に関する研究会	オンライン	2021年5月21日
6 戸原 雄	ミールラウンドのための視点	訪問歯科協会オンデマンド口座	オンライン	2021年5月23日
7 田村文登	在宅療養児の生活を支える	第11回北信越障害者歯科臨床研究会	オンライン	2021年5月30日
8 田村文登	「小児在宅歯科医療」小児の口腔機能発達不全症の考え方	石川県歯科医師会講習会	オンライン	2021年6月8日

8-H その他の出版物

※日本語名の氏名間は「全角カンマ」「全角空け」で区切り、英語名の氏名間は「半角カンマ」「半角空け」で区切る。その他、日本語文と英語文、あるいは英数字等については  
 ※講座または診療科等が編纂した実習書・講義副読本等を記載する。

	著者名	書名	版	刊行	印刷所	出版地	出版年 (西暦)	ISBNコード	著書の編者・監修者名
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									